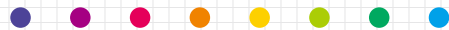


武庫川女子大学
研究者ロールモデルブック

Role Models for
Researchers Vol.3



未来に向けてあなたはどんな進路を選びますか？



理想のワークライフバランス実現のために、
本学卒業の研究者の " 声 " を集めました

CONTENTS

03

武庫川女子大学 文学部
日本語日文学科 准教授
羽生 紀子

武庫川女子大学 短期大学部
共通教育科 准教授
木村 麻衣子

05

07

武庫川女子大学 共通教育部 講師
寺井 朋子

武庫川女子大学
健康・スポーツ科学部
健康・スポーツ科学科 講師
五藤 佳奈

09

11

神戸芸術工科大学 芸術工学部
ファッションデザイン学科 教授
見寺 貞子

13

兵庫大学 健康科学部
栄養マネジメント学科
准教授
増村 美佐子

武庫川女子大学 生活環境学部
生活環境学科 助教
白井 詩沙香

15

17

武庫川女子大学 生活環境学部
建築学科 助教
山口 彩

19

オフエンブルク及び
ハイデルベルク音楽学校、
並びに国立カールスルーエ教育大学
ピアノ科講師
石川 典子

23

武庫川女子大学 薬学部 薬学科 准教授
中瀬 朋夏

25

丸石製薬株式会社
上野 萌

27

武庫川女子大学 看護学部
看護学科 准教授
片山 恵

29

女性研究者
支援センターの
取り組み概要

21

武庫川女子大学 音楽学部 応用音楽学科
教務助手
関西女子短期大学・
四条畛学園短期大学 非常勤講師
青木 智美



新しい分野を ような気持ち 続けてきまし 切り拓く で研究を た。

Spotlight

Role Models for Researchers

私の癒し

愛犬との時間。一昨年の夏、父が亡くなり介護が必要な母が残されました。悲しみに暮れる間もなく、様々なことが降りかかり、私は身体的・精神的にクタクタ。愛犬もストレスがたまっていたと思いますが、疲れて帰る私をいつも機嫌よく迎えてくれました。それまでとは生活パターンが変わってしまいましたが、これからも一緒に時間を大切にしていきたいと思っています。



武庫川女子大学 文学部 日本語日本文学科 准教授

羽生 紀子

はにゅう のりこ

Q 進路のきっかけは何ですか

A 学部の際、ゼミでの研究発表を論文にまとめることを先生に勧められ、いくつかの論文を発表するうちに、研究が面白くなりました。修士課程には進学したものの、博士後期課程への進学には躊躇する気持ちもありましたが、外部評価を受けるつもりでチャレンジした学振特別研究員（DC1）に採用されたことで気持ちが固まりました。特別研究員の面接試験の際に、面接官の先生の一人から「あなたの研究はおもしろい!」と言っていたので、とても嬉しかったことを覚えています。

また、両親の理解を得られたことも大きかったです。内心では、相当心配していたと思いますが、とにかくにも邪魔をするようなことがなかったのはありがたいことでした。

Q 夢の実現に向かって努力したことはどんなことですか

A 守りに入ることなく、ところどころでチャレンジをするように心がけてきました。自分の研究方法の確立にあたっては、文学研究と出版研究という二つの分野の融合を目指しました。それぞれの手法を追究するのは時間がかかり、また、それまでに行われてきた方法を踏襲する方が成果も見えやすいため、時には焦りを感じることもありましたが、新しい分野を切り拓くような気持ちで研究を続けてきました。



博士後期課程修了後は、出版研究の深化を求めて、イギリスでの在外研究に挑みました。日本文学研究者としてはあまりないパターンで、受け入れ先のあてもコネクションもなかったため、下手な英語で手紙を書いてイギリスの出版研究の大御所に売り込み、無事に受け入れてもらうことができました。今から思うと無謀なことでしたが、イギリスでの経験は、その後の私の研究スタイルに大きな影響を与えています。



Q 何故今の研究分野が面白く思いましたか

A もともと古典文学が好きで大学に進学しましたが、その頃は平安時代の女流文学を研究しようと思っていました。大学に入ってから江戸時代の作品に触れるようになり、単に読むだけではわからなかった、研究することによってより深みが増していく江戸文学の世界に引き込まれていき、現在に至ります。また、出版メディアについても研究の柱にしています。現在でも社会に大きな影響を与えるメディアである出版メディア。その草創期の様相を明らかにすることは難しいことですが、楽しくもある作業です。

■ プロフィール

PROFILE

1994 年
武庫川女子大学文学部国文学科卒業
1999 年
武庫川女子大学大学院文学研究科
博士後期課程修了、博士（文学）

■ キャリア

CAREER

大学卒業→大学院修士課程修了→博士課程進学・日本学術振興会特別研究員（DC1）→博士課程修了→日本学術振興会特別研究員（PD）・英国にて在外研究（レディング大学／ロンドン大学）→武庫川女子大学文学部講師→同准教授



体が資本です。栄養あるものを食べて睡眠をしっかり取ること。

Spotlight

Role Models for Researchers

ストレス解消法

モータースポーツ観戦&参戦 現在三重県在住のため鈴鹿サーキットが近くよくレース観戦に行きます。数十台が一斉にスタートするブラックアウトの瞬間の爆音が大好きです。自分自身も併設のレーシングスクールでキュルキュルタイヤをならしながら爆走することが最近の一番のストレス解消法です。



木村 麻衣子

きむら まいこ

武庫川女子大学 短期大学部 共通教育科 准教授

Q 進路のきっかけは何ですか

A 研究テーマが決まっていたわけでも、研究者になりたいと思っていたわけでもないのですが、ただ漠然と勉強を続けたかったことが進路のきっかけです。大好きな先生が武庫川におられたので離れたくなかったことも理由の一つです。

Q 夢の実現に向かって努力したことはどんなことですか

A 自分が「研究者」のはしくれになるとは想像もしていなかったので「研究者」になるために努力したことはないのですが、恩師から「私なんて」と自分の評価を自分で下げような発言はするな!と常々言われていたので何にでもチャレンジする努力はした（今もしている）と思います。国内研修先の大学でお世話になった先生から「国際学会で共同発表してみない?」と声をかけられたときも、「私なんかが無理!」と思いながらも勇

気をふりしぼり「やります!」と勢いで返事をしてしまいました。その後先生のサポートもあって、無事、2010年7月にソウルの英語教育学会で国際学会デビューをしました。それから毎年2-3回は海外で発表を続けていて、声をかけて下さった先生との発表も、先日2016年11月12日に記念すべき10回目を台湾でむかえることができました。



Q 何故今の研究分野が面白いと思えましたか

A 最初はどちらかというと「言語理論」的な内容を中心に学んでいましたが、日が経つにつれ自分が「言語使用者」に関心があることに気づき、「言語習得」にテーマをシフトしました。今は認知言語学のプロトタイプ理論を語彙習得に応用する教授法の開発を目指しています。私は中学からずっと武庫川生（最近はディープリバーと言うらしい）なのですが、優秀だったわけではなくちょっと変わった生徒・学生だったと思います。ですが「言葉」だけは大好きで、一つのことにのめりこむことを認めてもらえる環境だった

ことが現在の自分につながったのではないかとと思っています。

Q 研究者を目指す（後輩）女性へアドバイスをお願いします

A 体が資本です。栄養あるものを食べて睡眠をしっかり取ること。1時間強で一週間分の食事を作り終えるスーパー手抜き家事ならいつでもお教えできますよ。



■ プロフィール

PROFILE

南山大学大学院人間文化研究科言語学専攻博士後期課程
武庫川女子大学大学院文学研究科英語英米文学専攻修士課程
武庫川女子大学文学部英米文学科

■ キャリア

CAREER

25歳-28歳：県立高校、英語専門学校、短大、大学などで非常勤を続ける（最大週22コマ）
29歳で武庫川女子大学の専任嘱託職（1年毎更新）に就き、同じ年度に結婚。その後、任期無しの専任職に任用替えされ、現在に至る。結婚後4ヶ月で夫が転勤になり、7年間別居生活。現在は夫の転勤先の三重県津市と西宮市を行き来している。



大学院で多くの社会人の話を聞いた経験がとてもしかされます。

Spotlight

Role Models for Researchers

マストアイテム

私のマストアイテムは、ペン1本とハンカチです。どのペンとハンカチでもよいのですが、いつでもこの2つは欠かせません。学会の口頭発表など、特に緊張する場面では、必ずこの2つを持って前に出て、発表をします。実際には発表時にハンカチを使用することはほとんどありませんが、不思議なことにハンカチがなければ落ち着きません。私の緊張を緩めてくれるマストアイテムです。



武庫川女子大学 共通教育部 講師

寺井 朋子

てらい ともこ

Q 進路のきっかけは何ですか

A 子どものころから、何かを調べることが好きでした。「大学では心理学を学びたい」と思った高校生の時から、漠然と大学院に進みたいと考えていました。大学3年生の時に明確に大学院進学を決めました。研究テーマもはっきりしないままでした。とにかく「何かを調べたい」「知りたい」という気持ちだけで受験勉強に取り組みました。

今から振り返ると、どの時点が進路のきっかけだったのかは、よく分かりません。何度もある分岐点で、好きなことやしたいことを選んできたことと、そのたびに誰かに助けてもらった結果が、現在につながっているように感じます。

Q 夢の実現に向かって努力したことはどんなことですか

A あまり意識的に努力したような感覚はないのですが、敢えて言うとしたら、小さなこ

とでもあきらめなかったことかと思っています。今も「次の授業ではこうしたい」「来年のいつごろまでには論文を書きたい」というように、いろいろな目標(夢?)がありますが、うまくいかないことの方が多いです。しかし、少しずつでも前へ進めるようにあきらめずに努力しています。

Q 何故今の研究分野が面白いと思えましたか

A 私が博士後期課程を過ごした本学大学院の臨床教育学研究科は夜間大学院です。そこには、小・中・高校や大学の教員、保育士、看護師、福祉や行政など、さまざまな職種の社会人が通っており、社会人経験のない私には新鮮な毎日でした。私の研究は、小学校や中学校で質問紙調査を実施することが多いのですが、結果について心理学的に考察する際には、大学院で多くの社会人の話を聞いた経験がとてもしかされます。それは、1つの物事には多様な捉え方があると

ということです。自分が良いと思った質問項目や考察でも、他の職種や年齢や立場の人からは別の見え方があるかもしれません。自分が考えもしなかった他者の視点を自然に受け入れられるようになったのは博士課程の頃からです。さまざまな職種の社会人と共に学べたからこそ、社会の曖昧なルールや規範などについて、ますます面白いと感じて研究を続けられているのだと思います。

Q ON/OFF との切り替えのコツは?

A 切り替えはあまり上手ではない方だと思います。のめりこんでしまうタイプで、1つ

のことに集中すると他のことはあまり考えられなくなってしまう。このため、最近は“大きなON”の時は、きちんとOFFを作るために、ONの後に「楽しみ」を用意するようにしています。「楽しみ」はささいなことでもよいので、ONの時にはなかなかできないような「行きたい場所」や「したいこと」を設定します。このように事前に関心を用意しておく、「ON+楽しみ」のセットが終われば、自然にOFF(=楽しみ)も終わるようになります。この方法は、ONの時の精神的な支えにもなるので気に入っており、これからも意識的にしていこうと思っています。



■ プロフィール

PROFILE

2002年3月
武庫川女子大学文学部人間関係学科卒業
2004年3月
神戸大学大学院総合人間科学研究科修士課程修了(学術修士)
2005年3月
武庫川女子大学大学院臨床教育学研究科研究生終了
2008年3月
同大学院博士後期課程満期退学
2009年3月
博士(臨床教育学)学位取得

■ キャリア

CAREER

2008年4月~2011年3月
武庫川女子大学教育研究所 / 大学院臨床教育学研究科 非常勤助手
2011年4月~2016年3月
武庫川女子大学教育研究所 / 大学院臨床教育学研究科 助教
2016年4月~現在
武庫川女子大学共通教育部 講師



「もっと上手になりたい」という気持ち
人にでもあると思います。

Spotlight

Role Models for Researchers

マストアイテム

私のマストアイテムは、体操競技の審判員であることです。大学時代に審判資格を勉強し始め、今は国際審判員としても活動しています。採点競技である体操競技は選手の動きを評価することも大切です。本学の体操部は日本一を目指すチームだからこそ、部長・監督・コーチと連携し、審判員として学生の競技力向上に貢献することは私にとってマストであり、非常に充実した時間です。



武庫川女子大学 健康・スポーツ科学部 健康・スポーツ科学科 講師

五藤 佳奈

ことう かな

Q 進路のきっかけは何ですか

A 3歳から体操を習い始め、体操が大好きで仕方がないことがこの道に進んだきっかけです。幼いころから体操が楽しくて大好きで、とび箱の中でも半日遊べてしまうくらい体操に魅了されていました。しかし、体操選手として大きな大会を目指し始めたのは武庫川中学校の2年生になってからです。気がつけば選手として活動し始めるのは年齢的に遅く、全国大会で活躍している同年代の選手とのレベルの差を感じていました。その頃の私は、一生懸命練習に明け暮れる毎日でした。少しずつステップアップしていくものの、人並みに上達するにはとても時間がかかり、そんな時にもっと上手になりたいという気持ちがとても高まってきました。その頃から「どうしたら上手になれるの?」という漠然とした疑問が私の心に浮かび上がってきました。試合では、緊張し過ぎて練習の成果を発揮できないことから、高校生の時には恩師であ

る本学教授の三井先生にメンタルトレーナーを付けていただいたことがスポーツ心理学に興味を持つきっかけとなりました。また、大学では体操選手として常に進化し続けられたことや、スポーツ心理学のゼミを専攻し、「もっと上手になるには?」を考えるようになった頃からスポーツ心理学(運動学習)への興味が高まり、このことが大学院への進学を決めるきっかけとなりました。

Q 夢の実現に向かって努力したことはどんなことですか

A 私の夢は、私を育ててくれたこの大学で教員になり、私が経験させてもらったように競技の楽しさや一生懸命何かを貫き通す楽しさを、学生や子どもたちに伝え、育てることです。今、私には体操競技とスポーツ心理学というフィールドがあるので、この両輪をうまく回すことを楽しみながら努力しています。また、技を覚える時の苦難や技ができた時の喜びを忘れないためにも自分自身

の練習を継続したり、試合時の緊張感を忘れないために試合に出場することで競技者としての感覚を忘れないようにすることと、学問としてのエビデンスを私なりに理解しながら、人に伝えたり自身の原動力にして日々努力しています。

Q 現在の研究分野とその面白さはどんなことですか?

A 現在の研究は、「運動を覚えるとき、何に意識をしたら効率的に運動を学習できるのか?」という私自身が幼い頃、疑問に思っ

ていたことをスポーツ心理学(認知・知覚・運動学習)の分野から解明しています。おそらく「もっと上手になりたい」という気持ちはどんな人にもあると思います。多くの人への学習アドバイスとして最適な方法が見つかれば、体操選手のみならずスポーツ選手、さらには色んな分野で役に立つのではないかと思います。日々研究を続けています。自身の感覚や経験から課題を見つけ研究し、その成果を自身で試し、結果として運動ができるようになった(何かを克服した)ときの喜びは非常に面白い瞬間です。

■ プロフィール

PROFILE

1998年 武庫川女子大学附属中学校卒業
2001年 武庫川女子大学附属高等学校卒業
2005年 武庫川女子大学文学部健康・スポーツ科学科卒業
2007年 鹿屋体育大学大学院体育学研究科修士課程修了(取得学位修士(体育学))
2015年 鹿屋体育大学大学院体育学研究科博士後期課程修了(取得学位博士(体育学))

■ キャリア

CAREER

大学卒業→大学院修士課程修了→武庫川女子大学文学部健康・スポーツ科学科非常勤助手(5年)→非常勤助手2年目より勤務しながら鹿屋体育大学大学院博士後期課程に進学→本学非常勤助手をしながら関西大学非常勤講師・神戸大学非常勤講師→武庫川女子大学健康・スポーツ科学部健康・スポーツ科学科嘱託助手(4年)→本学嘱託助手をしながら同志社大学非常勤講師・日本体操協会女子審判部部員→武庫川女子大学専任講師→結婚→(現在に至る)



生活の中から生まれた 発想と発言が 快適な未来社 会を創る

Spotlight

Role Models for Researchers

マストアイテム…続ける力

私がユニバーサルファッション（だれもが快適に衣生活を送れる社会の実現を目指して）の活動を続けて早や 20 年が過ぎました。そして、震災後 10 年目から始まった「第 11 回兵庫モダンシニアファッションショー」が今年、ドキュメンタリー映画となりました。タイトルが「神様たちの街」！こうありたいと思う気持ちで活動を続けていると良いことがあるものですね！

映画公式サイト：kamisamaga.com 田中幸夫監督



見寺 貞子

みでら さだこ

神戸芸術工科大学 芸術工学部 ファッションデザイン学科 教授

Q 進路のきっかけは何ですか

A 小学校の時、着せ替え人形が好きで、洋服のデザインをよく考えていました。ある時、友達から作って欲しいと言われて作りましたら、喜ばれ、嬉しかったのを覚えています。その後も洋服が好きで、洋服づくりを続けていました。そして、興味がある家政学部被服学科に進学しました。

Q 夢の実現に向かって努力したことはどんなことですか

A 私の夢は、ユニバーサルファッション（年齢、性別、障害の有無に関わらず、誰もが、生涯、快適に衣生活を送れる社会を創る）の実現です。そのためには、社会の実情を知り、そこに潜んでいる課題をどのような仕組みをもって解決できるかを考えます。一人の考えと行動では限界があります。だから、ファッションで悩んでいる当事者へのヒアリングを基に、同じ目標を持った人とチームを

組み推進できる環境づくりを目指しています。それぞれの個性を活かすモノとコト（仕組みづくり）の実現化を最も大切に思い研究活動しています。

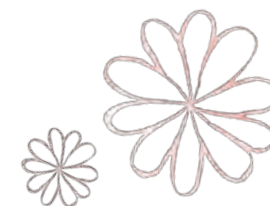
Q 何故今の研究分野が面白いと思いませんか

A ファッションとは、とにかく、若者のシンボルのように思われがちです。街では若者向けの華やかな服が並び、シーズンが終われば新しいファッションが勢ぞろいします。経済社会の中でのファッションはそのような位置づけで過去から続いています。しかし、高齢社会やエコ社会と言われる時代に何か矛盾しているような…。今まで経験したことのない社会状況の中でファッションデザイン分野はどのような役割や指名を担っていかなければならないのか。これからの未知の世界とファッションデザイン分野の関係性を研究することは面白く、意味のあることだと思います。

Q 研究者を目指す（後輩）女性へのアドバイス

A 誰もが生涯、心豊かに健康に暮したいと願っています。しかし今後、大きく時代や環境が変化する中で、私たちは何ができるのでしょうか？私は、毎日の衣食住生活を営んでいる女性たちの、生活の中から生まれた発想と発言が、快適な未来社会を創ると考えています。健康に暮らしていける食生活と

は、いつまでもおしゃれに装える衣服とは、安心・快適に暮らせる空間とは、これから求められる時代のニーズを女性の目線でしっかり捉え、未来社会に役立つ研究テーマを見つけていただくことを切に願っています。



■ プロフィール

PROFILE

1978 年
武庫川女子大学家政学部被服学科 卒業
1980 年
関西ドレスメーカーデザイン専門学校 卒業
1980 年
株式会社 近鉄百貨店本店商品計画部 入社
1994 年
神戸芸術工科大学 工業デザイン学科ファッションデザイン
コース専任講師就任後、ファッションデザイン学科 准教授、
教授、芸術工学研究所長、芸術工学部長などを歴任し、現
在、芸術工学研究機構長に就任 現在に至る
2006 年
神戸芸術工科大学 博士（芸術工学）取得

■ キャリア

CAREER

大学卒業→結婚→結婚生活と並行してファッション専門学校
卒業→(株)近鉄百貨店本店入社→第1子誕生→商品本部でオ
リジナルブランドの商品開発担当→第2子誕生→商品本部でバ
イヤー兼商品開発担当→神戸芸術工科大学講師勤務→本学准
教授、教授、芸術工学研究所長、芸術工学部長などを歴任し、現
在、芸術工学研究機構長に就任



自分にとって知る人を増や予防に繋げるの適量をし、疾患の研究を目指して

Spotlight

Role Models for Researchers

私の癒し

「かえるちゃん」グッズを眺めること。可愛いかえるちゃんグッズを見ていると、ニコリ、ホッカリ...

イライラや落ち込みが消え、表情が和らぐのがわかります。とても癒されます。



兵庫大学 健康科学部 栄養マネジメント学科 准教授

増村 美佐子

ますむら みさこ

Q 進路のきっかけは何ですか

A 私が卒業した頃は、多くの女性は結婚して家庭に入っていました。学生時代はそんな生活に憧れていたように思います。母校に採用されしばらくたった際、どっちつかずにいた私に熱心に研究指導をしてくださる先生に出会いました。その先生が「何かを頑張っていれば、きっとよい出会いも待っている!」と一言...その時は純粋にその言葉を信じてやってみようと思いました。高齢化社会に向けての研究テーマだったことも面白い!と感じた一因です。

Q 夢の実現に向かって努力したことはどんなことですか

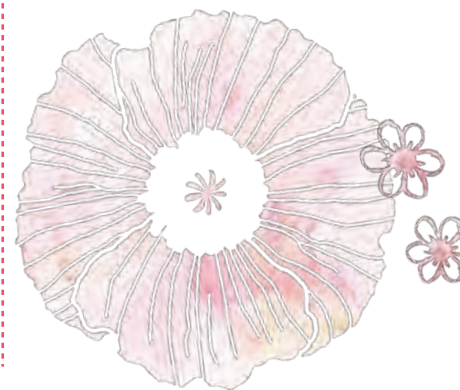
A 学位を取得するまでは、助手業務を行いながら隙間時間を活用し実験をこなしていました。あの頃の大学は遅くまで残っている人も少なく、当時の学科長から「早く帰るなさい」と言われたこともありました。その後、

試験管を振る生活から人を対象とした管理栄養士業務(武庫川女子大学栄養クリニック:減量教室)に変わりました。人への接し方、バランスのよい食事、減量や集団栄養教育法の研究を行うことになったのです。疾患の特徴をつかむために本を読み講習会に行ったりしました。先輩の管理栄養士の先生方は病院での経験も豊富でしたので、追いつきたい一心で、夕方から非常勤管理栄養士として栄養指導に行っていました。

Q 何故今の研究分野が面白いと思いましたが

A 成人への栄養指導の際、「何をどれだけ食べたらよい?」「バランスって?」などの質問をよく受けます。食と疾患は関連が強いので、自分にとっての適量を知り、選択、調理できる人を増やすことで疾患の予防になる研究をしたいと思い、幼児、中学生への食育活動を行っています。中学生への食育研究では朝食喫食生徒は、生活・学習面に

問題がないとの結果が出ました。継続して教育の順、定着度の評価方法などを研究しています。



Q ワークライフバランスを実現していくこと(工夫・努力していること)は?

A 慌ただしい毎日、お互いが気持ちよく仕事し家庭でリラックスできるように、パートナーにはどんな小さいことでもやってくれた行動に対して「〇〇してくれてありがとう」「とっても助かる～」と、感謝の言葉を忘れないようにしています。また、週末は2時間だけと時間を決めてお弁当のおかずを作り置きしています。市販品も利用し、月～金曜日までお弁当を作っています。

■ プロフィール

1986年 武庫川女子大学家政学部食物学科卒業、
(2001年博士(家政学))

■ キャリア

職 歴

昭和61年4月(1986年4月)～
武庫川女子大学家政学部食物学科副手として勤務
昭和63年4月(1986年4月)～
武庫川女子大学家政学部食物学科助手として勤務
平成11年8月(1999年8月)結婚
平成12年4月(2000年4月)～
実験から管理栄養士業務(武庫川女子大学栄養クリニックスタッフ)

PROFILE

CAREER

平成13年7月(2001年7月)に博士(家政学)の学位を取得
平成16年4月(2004年4月)～平成17年2月(2005年2月)
武庫川女子大学短期大学部非常勤講師
平成17年8月(2005年8月)～平成27年3月(2015年3月)
宝塚医療生活協同組合高松診療所 非常勤栄養士
平成18年9月 兵庫大学非常勤講師
平成19年4月～
兵庫大学健康科学部栄養マネジメント学科講師
すがの内科クリニック 非常勤管理栄養士
平成26年4月(2014年4月)～
兵庫大学健康科学部栄養マネジメント学科准教授



システムを意識することなく、学べるような仕組み

Spotlight

Role Models for Researchers

私の癒し

愛犬のマルチーズと過ごす時間が私の癒しです。いつも彼女が、私の帰宅がわかるとしっぽを振り、大きな目を輝かせてながら玄関まで出迎えてくれます。そんな愛犬に日々癒されています。



白井 詩沙香

しらい しずか

武庫川女子大学 生活環境学部 生活環境学科 助教

Q 進路のきっかけは何ですか

A 企業勤務を経て大学院進学を決めたときは、業務を通して興味を持ったユーザインタフェース*について学びを深めたい一心でした。その後、修士課程・博士課程で研究を進めるなかで、研究の面白さや喜びを知り、研究者を志すようになりました。また、大学院在学中に出会った先生方の影響も大きかったと思います。指導教官の本学情報メディア学科の福井哲夫先生をはじめ、それぞれの専門分野において志を持って真理を探究しておられる先生方と出会い、お話を伺うなかで、私も研究・教育を通して社会に貢献したいと考えるようになりました。

※ ユーザインタフェース：機械やシステムなどと、その利用者の間で情報をやり取りするための仕組みの総称。



Q 夢の実現に向かって努力したことはどんなことですか

A 夢の実現に向けて、自分に与えられている一つひとつのことに感謝し、精一杯取り組んでいきたいと考えています。私は研究とともに漫画を活用して子供たちの教育に貢献したいという夢があります。博士課程進学にあたり、研究と漫画やデザインの仕事との両立について葛藤していたとき、敬愛する女性研究者の先生から「賜物は両立というより、どちらもバランスをもって行っていくことで、その人独自の仕事として完成される」という言葉をいただきました。この言葉に励まされ、どちらの夢も諦めることなく、精一杯取り組んでいきたいと考えるようになりました。現在では双方の活動を融合し、教育・研究活動に漫画やデザインの経験を取り入れるようになりました。これからも夢の実現に向けて、努力を重ねていきたいです。

Q 何故今の研究分野が面白いと思いましたか

A 私は、数学 e ラーニングにおける数式入力インタフェース、学習支援システム、情報科学教育の研究を行っています。ICT (Information and Communication Technology、情報通信技術) に不慣れな先生や生徒でも利用しやすく、システムを意識することなく、学びに集中できるような仕組みや効果的な授業モデルの開発を目指しています。開発したシステムや教材を使って楽しく学んでいる生徒の姿や学びが深まっている様子を見ると、研究を続けてきてよかった

たとやりがいを感じます。近年、初等教育から高等教育まで様々な科目で ICT の活用が推進されており、ICT を活用した授業モデルの構築や効果的で使いやすい教材の充実が求められています。子供たちの未来に関わる研究に携わっている責任と自覚をもって、これからも研究に取り組んでいきたいです。



■ プロフィール

2007年武庫川女子大学生活環境学部情報メディア学科卒業 (学長賞受賞)。伊藤忠テクノソリューションズ株式会社で3年間の勤務を経て、2010年武庫川女子大学大学院生活環境学研究科修士課程へ入学。2012年同大学院同研究科修士課程修了。2015年同大学院同研究科博士課程修了。博士 (情報メディア学)。2015年から同大学生活環境学部生活環境学科助教。ヒューマンインタフェース (主に数式入力インタフェース)、学習支援システム、情報科学教育に関する研究に従事。

2014年情報処理学会情報教育シンポジウムデモ・ポスター賞、2015年CIEC学会賞 (論文賞) 受賞。情報処理学会、コンピュータ利用教育学会、日本数式処理学会、日本教育工学会、ACM各会員。武庫川女子大学キャラクターLavy原案者。

■ キャリア

大学卒業 → 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 3年間勤務 → 大学院修士課程 → 大学院博士課程・学位取得 (在学中、武庫川女子大学非常勤講師) → 武庫川女子大学助教 現在に至る。



理想の研究者、そして建築家になれにも挑戦して、そして、何事いきたいと思います。

Spotlight

Role Models for Researchers

ある1日のスケジュール

講義の担当がない日は午前中を研究に当てています。現在はイスラム建築に施された装飾タイルの色や文様について調査しています。またタイルに書かれた文字を理解するためにアラビア語の勉強も始めました。午後は演習です。私は大学院修士課程の「建築設計実務I・II」を担当しています。この日は、学生たちに指示しながらモザイクタイルを並べ、全体の色合いの確認や各図像の配置を調整し、モザイクタイル画の完成を目指して作業しました。

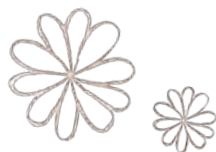


武庫川女子大学 生活環境学部 建築学科 助教

山口 彩 やまぐち あや

Q 進路のきっかけは何ですか

A 建築設計・デザインの仕事に就くと同時に、学術的な知識を拡げた研究をしたいと思い、建築学科の助手になることと博士後期課程へ進学することを決めました。研究をしたいと思ったきっかけは、大学院修士課程1年生の時に参加したトルコでの海外研修です。研修中はイスタンブールを中心にその周辺の都市を訪れ、宮殿の保存修復現場や工房での実習に参加しました。街並みや建物の視察で、東洋と西洋の文化が融合している雰囲気を感じ、非常に感動しました。そしてさまざまな文化について理解を深めたいと思い、修士課程での演習や修士研究などでも日本とは異なる文化圏に着目し、課題に取り組みました。



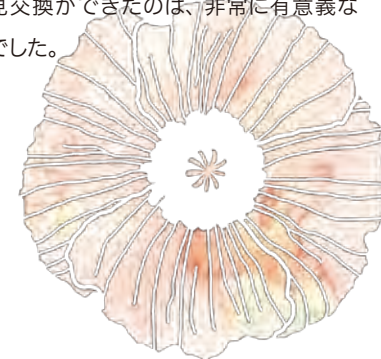
Q 夢の実現に向かって努力したことはどんなことですか

A 「夢に向かって努力する」というより、研究や設計プロジェクト、担当授業など、目の前の課題をクリアするのに精一杯というのが現状です。研究以外にも昨年は、建築学科の教員が所属する一級建築士事務所「武庫川女子大学 建築・都市デザインスタジオ」で委託を受けたモザイクタイル画（幅 4m・高さ 2.2m）制作の主任担当として携わりました。契約の手続きや、発注者（施主）との打合せ、制作作業をする学生のスケジュール調整などを行い、実社会へ貢献することもできました。さらに 1cm 角のモザイクタイルを1つ1つ並べた経験から、イスラム建築に施されているモザイクタイルによる空間演出手法にも興味を湧き、研究を始めています。さまざまな経験が研究のヒントになっています。理想の研究者、そして建築家になれるよう、何事にも挑戦していきたいです。

Q 何故今の研究分野が面白いと思えましたか

A 現在、イスラム建築に関する研究をしています。イスラム文化は日本とは全く異なる自然環境のもとで育まれた文化です。そこで博士論文では、イスラム建築の基礎研究としてイスラムの聖典であるクルアーンに記述される自然の要素の太陽・月・星・山・谷・川・泉・木を取り上げ、各自然の要素が神や人間とどのように関わっているのかを分析しました。引き続き現在は、各自然の要素を包括する大地と天に焦点を当てて研究しています。昨年は本学建築学科が主催した第4回国際会議「シルクロードを通し

て見た建築と文化」でその研究成果を発表しました。イスラムに関する日本の研究者は、まだまだ少ないので、国際会議で、海外の研究者や考古学などの他分野の研究者と意見交換ができたのは、非常に有意義な経験でした。



■ プロフィール

2010年3月
武庫川女子大学 生活環境学部 建築学科 卒業
2012年3月
武庫川女子大学院 生活環境学研究科 建築学専攻 修士課程 修了 [取得学位: 修士 (建築学)]
2015年3月
武庫川女子大学院 生活環境学研究科 建築学専攻 博士後期 課程 修了 [取得学位: 博士 (建築学)]

■ キャリア

2012年～2015年 武庫川女子大学 生活環境学部 建築学科 助手
2016年～ 武庫川女子大学 生活環境学部 建築学科 助教



学べる事が嬉しくて 寝食を忘れて勉強しました。

Spotlight

Role Models for Researchers

ある一日のスケジュール

5:30 起床 朝食、弁当、夕飯作り	21:45 帰宅
7:40 出勤	子供のピアノ、学校の用事等を見てあげる
健康の為30分の自転車通勤	22:30 家事
8:15 ドイツ国立カールスルーエ教育大学にてレッスン	23:00 翌日の仕事の準備
11:00 町で諸用を済ませる	23:30 出版楽譜の校正
12:00 帰宅	0:30 就寝
荷物を持ち替え車で出勤	
車を運転しながら、弁当をつまむ	
13:30 音楽学校でレッスン	
19:00 中級コース進級試験の審査員	
20:00 車を運転しながら夕食弁当をつまむ	



オフエンブルク及びハイデルベルク音楽学校、
並びに国立カールスルーエ教育大学 ピアノ科 講師

石川 典子

いしかわ のりこ

Q 進路のきっかけは何ですか

A 4歳の時指揮者になりたくてピアノを習い始めたものの、練習はそこそこに好きな即興やアレンジばかりしていましたが、某オーディションで最終の3人まで残れたのがきっかけで本腰入れて練習を始めました。何人かのピアニストに、私の感性は海外が合っていると言われ、更に恩師の井上直幸先生にドイツ留学を勧められたのですが、専攻科での室内楽の授業も、日本では出来ない勉強の為のドイツ留学決断のきっかけになったと思います。

Q 夢の実現に向かって努力したことはどんなことですか

A 『人生無駄な事は何一つない』という考えのもと、『学ぶ』事に対する貪欲さ、高い理想と大きな目標、そして学べる事に対する謙虚さと感謝が大切だと思ってきました。特にドイツに来てからは、学べる事が嬉しくて

寝食を忘れて勉強しました。

日本での学生時代からせっせと図書館に通い、セミナーや講習会にはどんなに遠くても出かけ、他大学のレッスンも聴講に通いました。それは今でも新しい技術や知識を得るため続けています。コンサートツアーで世界を回り、その国の文化、民族に触れるのも勉強になりました。また、コンクールの審査や講習会の仕事は新しい情報や音楽家同士のネットワーク作りにも役立ちます。子供が幼少の頃は仕事以外で家にいる間は 100% 子供にかけ、今でも練習や執筆は子供が寝た夜中過ぎにというリズムは崩していません。仕事柄車での移動は平均週に 700km になりますので、限られた時間を有効に使うため、車中で録音等聞きながら暗譜したり曲想を練ったり、生徒のレパートリー作り、新しい曲の開拓をします。また週末や休暇が仕事でうる職業なので、海外ツアーは学校の休暇に入れて子供を連れて行き、子供が海外で何かを得られるよう工夫しています。

Q 何故今の研究分野が面白いと思えましたか

A 受け身的なレッスンではなく、自分の意見を言え先生と納得いくまでオープンに話し合えるドイツでのレッスンは、私が長年疑問に思っていた事をクリアにしてくれました。私も指導する時、何故、どうして、と対話を欠かさず上からの押しつけにならないようにしています。それによって、レッスンしながら私の中で指導のアイデアがどんどん湧き出て来て、自分でも更にその曲を深められ毎回新しい発見があり、新鮮であり、同じ曲でも弾く生徒によってかなり異なる曲想の仕上がりになる面白さがあります。音楽家

である前に、一人の人間であれ。と言う前提のもと、音楽を通して人格形成に関われるのも醍醐味です。生徒達が国内外のコンクールで優勝したり、更には国際舞台で活躍するピアニストになってくれるのは先生冥利に尽きます。編曲の仕事は、自分のイメージした音楽を楽譜にして、世界中の演奏者と共有出来、演奏する事によって聴衆と共有出来る喜びがあります。舞台の上で、その時々インスピレーションを楽しめ、特に室内楽ではそのインスピレーションに互いが反応し合い意外な展開をして行くスリルがあり、ホールの中で聴衆との一体感を味わえるのは音楽家だけの贅沢な特権かもしれません。

■ プロフィール

1986年 武庫川女子大学音楽学部器楽学科専攻科卒業
1990年 渡独
1991年 ドイツ国立カールスルーエ音楽大学 学内コンクール1位
1992年 メンデルスゾーンコンクール（ベルリン）優勝、
メンデルスゾーン賞受賞
ファイナル・リグレ国際室内楽コンクール（イタリア）3位
ドイツ国立カールスルーエ音楽大学 弦楽科伴奏助手
1993年 Piano in Concert コンクール（ベルリン）2位
マレイ・ドラフツ国際ピアノデュオコンクール（マイアミ/アメリカ）1位
ドイツ国立カールスルーエ音楽大学大学院室内楽科首席卒業
1994年 フランツ・ヴェルツ国際ピアノデュオコンクール受賞
1995年 RCD 国際音楽コンクール（ザルツブルグ）3位
1.CD リリース
1996年 ドイツ国立カールスルーエ音楽大学大学院ピアノ科卒業
1997年 2.3.CD リリース
2001年 ギネス記録（12Pianisten）達成

PROFILE

2002年 サンサーンス“動物の謝肉祭”12手連弾用編曲
Helm-Baynov 社より出版
2004年 4.CD リリース
2005年 新シューマン連弾曲集のフィンガーリングを
ウィーン原典版より出版
2012年 5.CD リリース
2016年 ムソルグスキー“展覧会の絵”12手連弾 4打楽器奏者用
編曲 Helm-Baynov 社より出版

■ キャリア

日本、台湾、エジプト、東西ヨーロッパ、アメリカ各地にてコンサート、マスタークラスを行う他、TV、Radio 出演、コンクール審査員を務める。現在までに5枚のCDをリリース
現在オフエンブルク及びハイデルベルク音楽学校、並びに国立カールスルーエ教育大学ピアノ科講師

CAREER



どんな状況になっても 「音楽療法を続けること」

Spotlight

Role Models for Researchers

マストアイテム

「自分と子ども2人分の予定を分けて記入できる手帳&4色ボールペン&4色蛍光ペン」
自分の欄には仕事や外出の予定を記入後、重要度ごとに蛍光ペンで色分けします。子どもの欄にはそれぞれ小学校と幼稚園の行事予定や帰宅時間を記入し、さらにお弁当日、児童クラブ・延長保育を申し込んだ日の曜日のお迎えを頼んだ人(子どもの祖父母や主人)も記入して家族の予定を管理しています。



武庫川女子大学 音楽学部 応用音楽学科 教務助手
関西女子短期大学・四条畷学園短期大学 非常勤講師

青木 智美

あおき ともみ

Q 進路のきっかけは何ですか

A 幼いころからの夢だったピアノの先生になるために、附属中高に通っていた頃から音楽学部に進学しようと決めていました。しかし高校2年から心理学に興味を持ち、心理・社会福祉学科にも関心を持っていたところ、私が大学に入学する年度に音楽学部の音楽学科と器楽学科に音楽療法コースが新設されるという話を聞き、即決しました。大学入学前は、音楽療法に関する詳しい知識はありませんでしたが、音楽と心理をどちらも学ぶことができる!と意気込み、学べば学べば音楽療法をもっと知りたいと思うようになりました。そして大学3年で音楽療法でのクライアントの身体の動きについて詳しく学びたいと思うようになり、体育系の大学院へ進学を決めました。



Q 夢の実現に向かって努力したことはどんなことですか

A どんな状況になっても「音楽療法を続けること」を努力しました。
大学卒業時に音楽療法士(補)の資格を取得しました。当時は、その後2年間は年間40回以上の実践経験を積まなければ認定音楽療法士の受験資格が与えられなかったため、大学院に通いながら、高齢者施設のほか市の民生委員から紹介された個人への音楽療法を実施していました。第1子を出産後に何とか認定音楽療法士の資格を取得し、家事・育児が中心の生活を続けていたのですが、月に2、3回通っていたデイサービスの音楽療法では、クライアントの方々との関わりが私自身の気分転換にもなっていました。そんな中、大学の恩師からお声掛けいただいたことがきっかけで、現在は助手として勤務しながら、音楽療法研究室「ラビッコルーム」で子どもたちと音楽を通じて関わる事ができています。

Q 何故今の研究分野が面白いと思えましたか

A 音楽療法は、知れば知るほど新しい発見があり、また同じクライアントとの関わりの中でも毎回同じということはなく、子どもたちの行動や発想力には驚かされることがあります。
私は良く言えば多趣味、悪く言えば広く浅くという性格のため、興味を持つ分野は多くてもやりたいこと知りたいことが増えすぎて、最終的にすべてが中途半端になり、自分が

本当にやりたいことは何なのか?と悩むこともありました。しかし、今までに得た広く浅い知識や経験が、思いがけず音楽療法の場で結びつく瞬間があり、無駄じゃなかったと実感することができました。新しい研究分野であるからこそ応用力が必要であり、クライアントの多種多様な反応に適応する能力が不可欠です。普段はどうでもいいような知識がクライアントに接する私たちセラピストの対応に関連するのはとても面白いと感じています。

■ プロフィール

2007年3月 武庫川女子大学 音楽学部 器楽学科(音楽療法コース)卒業
2009年3月 大阪体育大学大学院 スポーツ科学研究科 スポーツ運動・コーチ科学領域 博士前期課程 修了(スポーツ科学 修士)

■ キャリア

2000年3月 武庫川女子大学附属中学校 卒業
2003年3月 武庫川女子大学附属高等学校 卒業
2007年3月 武庫川女子大学 音楽学部 器楽学科(音楽療法コース)卒業
2008年・現在 デイサービス ソラストつかしん 非常勤音楽療法士

2009年3月 大阪体育大学大学院 スポーツ科学研究科 スポーツ運動・コーチ科学領域博士前期課程 修了
卒業後、結婚、自宅でピアノ教室を始める
第1子誕生、第2子誕生
2012年4月・現在 武庫川女子大学 音楽学部応用音楽学科 教務助手
関西女子短期大学 保育科 非常勤講師
医療秘書学科 介護福祉コース 非常勤講師
2016年4月・現在 四条畷学園短期大学
ライフデザイン総合学科「総合福祉コース」非常勤講師
2017年6月 第3子出産予定



もっと知りたいと
いう情熱で、
突っ走ってきました。

Spotlight

Role Models for Researchers

ストレス解消法

「日常とは違う景色を見ること」
私は11年前、旦那の留学に同行し、米国で自分のポストドク先を探したのですが、応募したすべてのラボから断られました。失意のどん底にいる時、常に世界をリードする米国航空宇宙局NASAの訪問では、限らないフロンティアと夢をもらいました。挑戦し続けた結果、ある出会いからポストドク先が見つかり、研究生活を継続できました。若いときの失敗と成功と出会いは、必ずこれからの人生にプラスになります。



武庫川女子大学 薬学部 薬学科 准教授

中瀬 朋夏

なかせ ともか

Q 進路のきっかけは何ですか

A 幼い頃から、虫や花の観察が好きだったので、漠然と、研究に興味がありました。大学・大学院では、興味深い研究テーマのもと、新たな発見は世の中の常識を覆すこともあるというワクワクした気持ちで研究に取り組みました。研究を進めていくと、常に思うような成果が出るわけではなく、逃げ出したい時もありましたが、幸運にも、研究が心から好きで熱心な先生と先輩、日夜、研究も遊びも切磋琢磨できる同級生や後輩に囲まれ、しんどくても自然に研究を楽しんでいました。さらに、学生でありながら、最新の知識と技術を要する実験や国内外で著名な先生を目の前にして発表する等、自分の能力の限界以上のことに挑戦する機会を与えられることもあり、その中で、小さいながらも成功を掴み、達成感を味わう貴重な経験ができました。このような学生時代の環境から、自分の努力がどこまで通用し、不可能を可能

にできるのか、一生チャレンジが必要なやりがいがある職業は研究だと考え、学位取得後は研究ができる道へ進む決心をしました。

Q 夢の実現に向かって努力したことはどんなことですか

A 未だ治らない病気の治療法開発に繋がる重要な研究分野を開拓し、社会に貢献したい。これは、研究者にとって使命でもあります。時にはその使命感がプレッシャーになるときもありますが、研究が好きという気持ちと、なぜこのような現象が起きるのか、もっと知りたいという情熱で、突っ走ってきました。研究の世界で置いてけぼりを食らわないように、常にアンテナを張り、研究者同士の交流には積極的に足を運びます。研究以外のことが忙しいときでも、なんとか時間を作り、コツコツと研究を継続できるように考え、今後は後輩に夢を与え、共に夢を持って研究できるよう努力したいと思っています。

Q 何故今の研究分野が面白いと思いましたが

A 研究の面白いところは、とことん追究した先にある新しい事実との遭遇と感動の連続であることだと思います。5年前、研究室の学生と共に、私達の体にとって必要不可欠なミネラル栄養素として注目されている亜鉛が、乳がんの運命を左右する力があることを見つけて以来、亜鉛に魅せられています。未だ謎に包まれている亜鉛の神秘を紐解くことにより、副作用の強い抗がん剤に頼らなくても良い乳がん治療法を開発できる可能性があるので、人生をかけて、研究に取り組みたいと思っています。

■ プロフィール

1999年 武庫川女子大学薬学部生物薬学科卒業
2001年 大阪大学大学院薬学研究科博士前期課程修了 修士(薬学)
2004年 大阪大学大学院薬学研究科博士後期課程修了 博士(臨床薬学)
2004年 大阪大学大学院医学系研究科SORST研究員
2005年 米国ワシントン州バシフィックノースウエスト研究所 博士研究員
2006年 大阪大谷大学薬学部助手
2006年~2007年 バシフィックノースウエスト研究所協力研究員(兼任)
2007年 武庫川女子大学薬学部講師
2015年 武庫川女子大学薬学部准教授 現在に至る

Q 自分の子供が研究者になりたいと言ったらどうしますか?

A 嬉しいですね。お互いの得意分野をぶつけて、共同研究できたら最高です。私は、研究は努力を裏切らないと考えています。中途半端ではなく、正しい方向へ向かった地道な努力は、たとえ期待していた結果に結びつかなくても、努力したというプロセスから道が拓けると信じています。研究と育児の両立は大変ですが、どちらもかけがえのない時間です。同職種である旦那の協力と周囲の人達のサポートがあってこそ、皆に感謝しながら、助けられています。また、このような中でのいろいろな人達との出会いは、人生を豊かにしてくれると思います。

■ キャリア

大学卒業→大学院修士課程→大学院博士課程→学位取得→
博士研究員→結婚→留学→大阪大谷大学助手→武庫川女子
大学薬学部講師→第1子誕生→武庫川女子大学薬学部准教授



どんなことでも自分で 1度やってみよう 挑戦する気持ち と向き合い

Spotlight

Role Models for Researchers

マストアイテム

マストアイテムはお弁当箱です。会社の食堂のご飯を食べる時以外は、お弁当を持参しています。お弁当だと好きなものを好きなだけ持っていけるので便利です。実家暮らしなので、母の作った晩御飯の残りを詰めるという得意技をよく使っています（笑）



丸石製薬株式会社

上野 萌

うえの もえ

Q 進路のきっかけは何ですか

A 薬学部での専門分野（生物学や有機化学）に興味をもち、薬学部で学んだ事を活かしたいと思った事がきっかけで製薬会社に就職しました。また大学の4年生になって1年間所属していた生薬学研究室での研究が楽しくて実験を続けたいと思った事がきっかけで技術職を選択しました。その為に大学院へ進学することも考えましたが、今の段階で就職できるところがあるのであれば…と思い就職活動に挑戦しました。そして丸石製薬の品質管理部にご縁があり、現在に至ります。

Q 夢の実現に向かって努力したことはどんなことですか

A 夢の実現の為に、と思ってしていたことではありませんが、興味のある授業は本学まで1人で受講しに行っていました。また、必須科目などその時取り組まなければならない事は苦手な事も含めて、精一杯向き合って取り組むようにしていました。大学では自分の意欲があれば色々な事に挑戦できる機会があるところだったなと思います。現在、品質管理部の仕事でも、経験を積んで技術を習得する為に、どんなことでも自分で1度やってみようという向き合い、挑戦する気持ちで取り組んでいます。

Q 何故今の研究分野が面白いと思いましたが

A 品質管理部での仕事は研究ではありませんが、理化学試験や微生物試験を実施し製品の品質を評価し、評価結果（試験データ）によって品質を保証する仕事です。また、製造現場の方々に評価結果をフィードバックすることで、品質をより確かなものにする役割もあると実感しております。そのなかで、製品の品質を評価する為の試験業務を効率よく、的確に行う為には経験も技術も必要で、入社して2年の私にとってはまだまだ難しい事がたくさんあります。例えば、様々な分析機器を使うので、トラブルも起こりますが私にとっては、そのトラブルを解決する事がまず難しいです。です

が自分の成長にもつながるので、上司や先輩に相談しながら解決の糸口を見つけて頑張っています。簡単にできない事があるからこそ、やりがいがあって品質管理部の仕事が面白いと感じています。もともと細かい作業が好きなので、試験業務自体も単純に面白いと感じています。

ストレスをため込まない為に、毎日と言う訳にはいきませんが、就業時間（17：00）に仕事を終わらせて、習い事をしたり、買い物をしたり、自分の時間を楽しんでいます。また、有給休暇を金曜日に取ってちょっとした連休をつくり旅行にも行っています。この職場環境が仕事を面白いと感じさせてくれる一つでもあるかもしれません。

■ プロフィール

2015年 武庫川女子大学 薬学部 健康生命薬科学科 卒業

PROFILE

■ キャリア

武庫川女子大学卒業→丸石製薬株式会社入社（品質管理部）

CAREER



環境(物的、人的)を手に入れることは、とても大事だと思います。

Spotlight

Role Models for Researchers

私の癒し

一緒に暮らしているラブラドル・リトリバーの「うめ」です。疲れて帰ってソファに座ると寄ってきて、じっと見つめられると愛おしく安らぎます。



片山 恵

かたやま めぐみ

武庫川女子大学 看護学部 看護学科 准教授

Q 進路のきっかけは何ですか

A きっかけは、大学時代の恩師と友人から新設の大学ができるので助手として働かないかと誘われたことです。大学時代は研究者になろうとか教育に携わろうとかの意志はなかったのですが、臨床以外の仕事に興味を惹かれたというところでしょうか。性に合わなかったら病院勤めをしようと考えていました。

助手の仕事は、何をするのも初めはわからず、非常に苦労しながら仕事を覚えしました。少し仕事の面白さがわかってきて大学院へ進学すべきか悩んでいたとき、たまたま大阪大学から非常勤で講義に来られた阿曽教授(本学看護学部長)の授業準備担当をさせていただきまし。先生から大阪大学に大学院があることをお聞きし「受けたらええよ。」と言われたことが、この道に進むことを決定付けました。今、研究テーマとしている看護技術は学生時代に小児看護に次いで

苦手だったのですが、新人教員として看護技術の演習に携わっているうちに教えていることの根拠がまだまだ確信的ではなく、経験的なものが多いことに気がつきました。このことから技術の根拠を検証したり、患者さんによりよい技術を行う方法を開発することに興味を覚え研究テーマとしたのです。

Q 夢の実現に向かって努力したことはどんなことですか

A 夢の実現への努力ですか・・・うーん。自分でこれを努力したということって具体的に思い浮かびません。そんなに気負って物事を行うタイプではないので。

Q 何故今の研究分野が面白いと思いましたか

A 看護学は、利他的な思考や行動がベースだと考えています。私たちが援助させていただく人々の Quality of Life の向上を意識して、Research Question を選択して研

究していく。研究で明らかになったことが臨床現場で実践され、援助を受けた人々がよりよい状態になり生きているならば、そこに少しでも関与できていることが冥利に尽きます。

Q 研究者を目指す(後輩)女性へアドバイスをお願いします。

A とても現実的な話ですが、研究者であると同時に結婚し子育てをするのであれば家庭のことを「妻だから母親だから～すべき、私が全てしなければならない。」という考えに縛られないことです。自分にしかできないこともあります。多くのことは自分以外の人でもできるのです。自分のキャパシ

ティを客観的に知り、支援を受けることも必要。私の夫は、私が遠方の大学で働いていたこともあり、ほぼ80%育児を引き受けていました。今でもこの支援に感謝しています。また、私は、修士に入学したとき、妊娠8ヶ月のおなかを抱えていたのですが、出産、育児をしながらも2年で修了することができました。大学のキャンパス内に保育園があったこともよかったのですが、指導教官の阿曽教授が入学してもいいものかどうか迷っていたとき「修士の途中で出産してもかまへんからおいで。なんとかなるから。」と後押しして下さったことも大きかったですね。今でもそうですが、環境(物的、人的)を手に入れることは、とても大事だと思います。

■ プロフィール

日本赤十字看護大学看護学部卒業
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻 博士前期課程修了
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻
博士後期課程単位取得満期退学(博士 看護学)

■ キャリア

某大手企業健康管理室、神戸市看護大学看護学部助手、社団法人日本看護協会、大阪市立大学医学部看護学科講師、神戸大学大学院保健学研究科講師を経て 2015 年看護学部開設と同時に現職

武庫川女子大学大学院看護学研究科准教授

女性研究者支援センターの取り組み概要

「若手研究者の自立と国際化を軸とした女性研究者支援のモデル開発」

4
つの

取 り 組 み



キャリア支援部門

キャリアパス設計

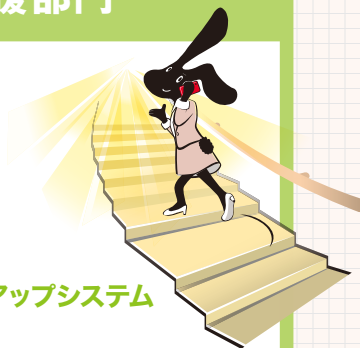
- ◆キャリア相談
- ◆研究職の就職相談

女性研究者交流サロン

- ◆研究情報の交換
- ◆ライフイベント情報交換

若手女性研究者スタートアップシステム

- ◆セミナー・支援
統計解析、グラント申請の書き方、
英語論文、国際学会発表など



女性研究者
ネットワーク

調査・広報部門

意識改革の推進

- ◆意識啓発セミナーの開催

女性研究者採用・登用の活性化

- ◆優秀な女性研究者の募集

広報体制の強化

- ◆新たな支援システム情報の収集
- ◆ニュースレターの発行



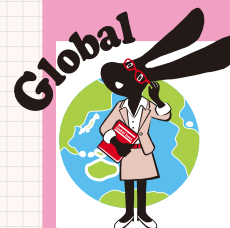
Future plan ●中期計画

- 1 若手女性研究者の自立と女性研究者のリーダーシップ性の育成
- 2 女性教員の国際化支援
- 3 他大学や研究所等でリーダー職(教授)として活躍できる人材育成

Activity plan ●活動計画

- 1 女性教員の長期研修(国内外)の推進
- 2 国内外でリーダー職として活躍している卒業生の情報整理
- 3 国内外で活躍する卒業生の分野(業種)調査
- 4 本学における女性活躍分野の探索と強化戦略
- 5 博士取得者の就職サポート
- 6 修士、博士課程への進学推進及び終了後の就職相談コーナーの開設
- 7 本学教員と国内外大学教員との共同研究サポート
- 8 既設置の女性研究者支援制度の保持

国際化支援部門



国際的に活躍できる女性研究者の育成

- ◆英語プレゼンテーションに関する支援
- ◆アメリカの女性研究者との交流
- ◆海外の女性研究者に関する情報収集
- ◆海外留学情報



アメリカ分校
(MFWI)
1990年開校

関西圏女子大学連携部門

共同研究の萌芽

- ◆異分野交流会

共同研究の推進

- ◆共同研究の支援

研究環境の整備

- ◆施設の相互利用

ダイバーシティ化

- ◆地域社会との連携



関西圏女子大学
ワーキンググループ

奈良女子大学

神戸松蔭女子学院大学



武庫川女子大学女性研究者支援センター

〒663-8558 兵庫県西宮市池開町 6-46 武庫川女子大学 中央キャンパス内

TEL : 0798-45-3737 FAX : 0798-45-3535

Email : female_r@mukogawa-u.ac.jp